

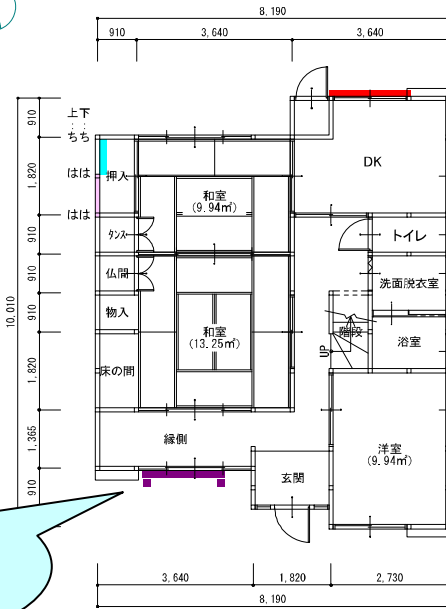
応募事例

【工法の種類】「ウッドピタフレーム」
「ウッドピタブレース」工法

【応募者名】株式会社ウッドピタ

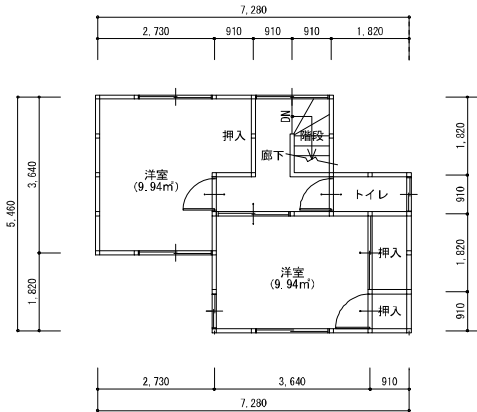
建物概要

所在地 …春日井市
 建築年 …昭和52年
 階数 …2階建て
 延床面積…103.51㎡
 建物仕様…非常に重い建物
 屋根 …土葺き瓦
 壁 …内壁・外壁とも土壁
 基礎 …無筋コンクリート布基礎



-凡例-

- : ウッドピタブレース 一間タイプ(+6.2 kN/m)
- : ウッドピタフレーム (W1820 柱2本 +6.04 kN/m)
- : 構造用合板 (+5.2 kN/m)
- : 接合部補強



- 風通しも採光も今まで通り
- 出入りもそのまま
- 外観も損ねません

- 耐震診断値
改修前 0.60 → 改修後 0.80
- 改修にかかった工事費
192万 (調査費、設計費込み)
- 改修にかかった工事期間
約1ヶ月
(ウッドピタフレーム製作約2週間を含む)

● ウッドピタブレース補強・構造用合板補強 ●

腰窓や比較的小さな開口部をウッドピタブレースで補強を行いました。壁強さを分散させることで、引抜き力を抑え、ウッドピタブレースの引張耐力8.8kNという性能を生かした効果的な補強計画としております。又、西側は敷地の関係上、施工スペースが確保できなかった為、比較的生活に支障が無い押入れの内部構造用合板補強を行っております。

● ウッドピタフレーム補強 ●

日本の住宅の多くは、南側に大きな開口部があり、風通し・日当たり等に配慮されています。しかし耐震性ではそこが大きな弱点となっています。従来、この弱点を解決する為に、開口部を小さくして壁を作り補強を行ってきましたが、それでは今までの居住性を損ねてしまいます。「ウッドピタフレーム」の耐震補強は、風通し・日当たり・使い勝手はそのままに、木造住宅の弱点補強を行える最適な工法です。さらにウッドピタフレームは基礎を打増し補強する為、耐震性能が非常に高く、無筋コンクリート基礎の住宅にも効果的に補強が行えます。今回の補強工事では一間半の開口にウッドピタフレーム補強を行うことで、南側の保有耐力を大幅に向上させ、評点アップを図りました。



ウッドピタアンカー取り付け



基礎工事



基礎工事



南面 ウッドピタフレーム補強



北面 ウッドピタブレース補強(一間タイプ)



東面 ウッドピタブレース補強(一間タイプ)